

日本とアメリカ：どちらのほうがちよくせつてきですか

Japan and America: Which Country is More Straightforward?

ディン・ブライアン Bryan Ding

82-271: Intermediate Japanese I

この作文では日本の依頼する表現とアメリカの依頼する表現を比べてわかったことについて書こうと思う。日本では、依頼をする時に、日本人はためらいがちに、文を途中までしか言わない。例えば、学生は先生に推薦状を頼む時に、よくためらいがちになる。日本では、依頼をする時に、困っている状況だけを説明して、相手に依頼の内容を察してもらう。例えば、もし学生が推薦状が必要だったら、時々先生にちよくせつに聞くことはよくない。先生に依頼の内容を察してもらうほうがいい。日本語では、依頼表現には可能否定形がよく使われる。例えば、学生は先生に、「先生、推薦状を書いていただけませんか」と聞いたほうがいい。アメリカでは、依頼をする時に、ためらわないほうがいい。ちよくせつ聞いたほうがいい。次に、目上の人に依頼する時に、相手に察してもらうのはよくない。でも、アメリカでも、日本と同じ、よく可能否定形が使われる。アメリカ人にとって、それはもっとていねいだと思う。たとえアメリカ人がちよくせつてきでも、日本人と同じく、聞いているのはちょっと恥ずかしいからだろう。でも、他の点を比べてみると、アメリカ人は日本人より、もっとちよくせつてきだ。多分、アジア人は、先生たちに、アメリカ人より尊敬をする。日本の文化はアメリカとちがっ

て、相手に察してもらおう。私は大学に申し込む時に、二人の先生からの推薦状が必要だった。その時、私はちよくせつ先生たちに依頼しました。日本人は依頼する時に、ちょっと弱気だと考えている。